

# 図書館だより



休館日…毎週月曜日・5月4日(火)・13日(木)

祝日開館日…5月5日(水) 9時~17時

図書館では、現在約200タイトルの雑誌を市民の皆さんに提供しています。そのうち、新たに購入を始めた15誌を紹介します。

見方…○「タイトル」・「出版社」・「発行日」  
○週刊アスキー・アスキー・メディアワークス・毎週火曜日

○PC fan・毎日コミュニケーションズ・毎月29日

○クーヨン・クレヨンハウス・毎月3日

○きれいの魔法・NHK出版・毎月21日

○すてきにハンドメイド・NHK出版・毎月21日

○NHKテレビ住まい自分流・毎月20日

○日経おとなのOFF・日経BP出版センター・毎月6日

○日経ヘルスプルミエ・日経BP社・毎月20日

○dancyu (ダンチュウ)・プレジデント社・毎月6日

○HERS (ハーズ)・光文社・毎月12日

○STORY (ストーリー)・光文社・毎月1日

○ViVi (ヴィヴィ)・講談社・毎月23日

○NHKためしてガッテン・主婦と生活社・3、6、9、12月の16日

○自給自足・第一プロGRESS・3、6、9、12月の3日

○かぞくのじかん・婦人之友社・3、6、9、12月の5日

## ◆5月の通常の「おはなし会」開催日 (八日市場図書館)

毎週土曜日15時から約30分間

アドレス<http://www.library.sosa.chiba.jp>

☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

## 市政の窓

No.2



4月1日、新規採用並びに人事異動職員109名に辞令を交付しました。本市の発展を念頭にし、職員一同が心新たに平成22年度のスタートを切りました。忙中閑あり。野点の招待状が届いておりますので、天神山公園の五分咲き桜の下、飯島社中主催の茶会におじゃましました。私は、武道中心のアウトドアスポーツ系の人間で、「道」と

## 春を満喫

いう休業での精神面においては共感するものがあります。しかしながら、茶道・華道等の日本古来の伝統文化に直に接するのは初めてであり、予備知識や作法も知らぬ身での出席でした。野外にもかかわらず静寂さが漂う中、もてなしの気持ちが伝わり、心の安らぎを感じました。作法修得の意欲は大いにわいたところでありますが、もてなす側と客との心を通わせる知識の必要性も深く感じました。天神山公園は桜の名所を

目指し、7年前に市民オーナー等のご協力により植樹されました。若木も育ち盛りで、名所と呼ばれる時期はすぐそこに来ているような感じを持ちました。来春までには作法を今少し勉強をさせていただき、また一服のお茶を頂きたいと思っております。この日は、天神山公園を後にし、孫を連れ飯高檀林跡、黄門桜、ふれあいパーク八日市場を巡り、春を満喫しました。後日開催された春の風物詩「のさかチューリップ祭り」も見事でした。 匠 瑳市長 太田安規

## 文芸コーナー

### 短歌

土屋 耕一 推薦

夢いくつ流して過ぎし越し方を真昼の月に侘しく想ふ

八日市場ハ 太田 玲子

気づかひをひそか謝しつつ隣席の妻に委ねてバスの旅行く

八日市場イ 小泉 泰清

幾人の別れし友の偲ぶるる古き歌稿を繰りつつをれば

八日市場イ 中川いね子

冬枯れの田圃続ける里の道山茶花の紅眼に沁みる

時曾根 南波 鹿子

冬晴れの続くに待ちし雨ありて冬芽をふふむ枝に沁み入る

飯倉台 多部田佐智子

春雨の沁みたる畑の柔らかな短き畝に植うる馬鈴薯

大浦 椎名かね子

鯨十尾もらひて妻の腕冴ゆる刺身にタタキなめろうなども

八日市場イ 椎名 昭雄

臨終に間に合わざりて母の亡骸わが手に抱きて年の瀬帰宅す

荻野 川口 登喜

川口 城司 推薦

房州の娘より届きし春の花姪とたづさふ彼岸参りに

野手 大木 政子

万両の実のほとほとを鶴の食み彼岸を過ぎて残るは一枝

栢田 渡辺 重雄

高音の女性二人に次ぐ出番つられてかわが吟調べの狂ふ

栢田 小川 知至

初彼岸の姑の植系にし水仙の白につづきて黄の花香る

今泉 小川みさ子

### 俳句

西野 棠雨 推薦

六地藏 一体傾ぐ竹の秋

上谷中 八木佐久司

# 色鮮やかに咲き誇る

## ふじの里の寺

### 匠探訪

- 48 -

サクラからフジ、ツツジの季節に移り、市内の里山も新緑につつまれるようになりました。5月に「ふじ祭り」のイベントを行ってきた「木積(きづみ・豊栄地区)・ふじの里」も昨年3月に「木積藤箕(み)制作技術」が国の重要無形民俗文化財に指定されたことで盛り上がることでしよう。



3色大ツツジで知られる圓實寺

「ふじ祭り」は平成10年から行われているとのこと、300年ほど前の江戸時代中期・元禄時代に「加納(かのう・叶とも書く)おせん」がこの地域に農具の箕作りを伝えたといい伝説をもとに祭りが始まり、それに合わせるかのように技術の継承にも目を向けられ文化財指定となりました。

同地区には、樹齢700年以上とされる夫婦杉のある白山(はくさん)神社と隣接する龍頭(りゅうとう)寺の大ツツジで知られる圓實(えんじつ)寺があります。

龍頭寺は寺の名と結びつけられ、龍にまつわる寺とされていますが、大寺・龍尾寺のように伝説を裏付けるような記録はまだ見つかっていません。むしろ同地区に伝わっている新田義貞(にしたよしかだ)の家臣移住伝説を裏付けるかのように1363年の年号が刻まれた板碑(いたひ)

が発見されました。龍頭寺から坂道を登ってたどりついたのが、竹林に囲まれたツツジが見事な圓實寺です。山寺の雰囲気につつまれた日蓮宗の同寺は、同村で生まれ飯高檀林で学んだ日顛(にちぎ)という高僧が師匠を開山(かいざん)寺を開いた者)として建てたと考えられます。

境内には安産・子育ての七面(しちめん)堂や疱瘡(ほうそう)・天然痘(てんぜんとう)神をまつた「妙正(みょうしょう)大明神」、近隣14か村の信者により建てられた眼病守護の日朝(にっちょう)供養塔、痔(じ)の守り神などがあります。

明治17年秋には、この寺の本堂で自由民権運動の集會が行われました。同村の越川、佐久間姓の民権運動家が近隣から数十人を集め「酒たけなわにして演説の雄弁を戦わせ余興もあって盛大だった」と当時の新聞で報じられました。

取材で訪ねた折り、見物者受け入れを前に境内清掃していた人によると、今春の天候不順でツツジの見ごろは5月中旬ころになるのではないかとのことでした。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746

明日のため掃かれ遅日の村社  
八日市場イ 菅谷たけし

校庭の隅の鉄棒暮遅し  
八日市場ハ 大川 宣子

撃がれしままの川舟春疾風  
登戸 伊藤 さく

嘯りや伽藍にかなふ大木魚  
高 伊藤 友子

天守なき城一望の初桜  
八日市場イ 依知川きよ

辛夷咲く新品並ぶ自轉車屋  
飯高 安藤 建子

辛夷咲く道路工事の真っ最中  
横須賀 吉野 ヨシ

大硯据ゑて若水満たしけり  
野手 山口 静堂

降るか照るかはつきりしない寒さかな  
川辺 大木 竹子

万愚祭青春棄てし戦の日  
栢田 櫻井富実雄

## 川柳

### 高梨 果宝 推薦

二才半やと出て来た腹の虫  
蕪里 鶴澤 教子

お互いに本音で語る齢となり  
大浦 江波戸清江

酔う程に心の奥の本音出る  
八日市場イ 関川 幸子

二人旅本音で語り合える仲  
飯高 林 サダ子

浅蜷汁産地不明の不安飲む  
春海 久米 喃喋

改築は新築よりも高く付き  
八日市場イ 伊藤さとこ

栄光の裏に挫折も幾度か  
八日市場イ 常世田やす子

バラマキが子孫へ残る負の遺産  
八日市場イ 鈴木十世志

寒さ耐え咲く梅の花自ず耐え  
川辺 及川 利道

### 川口 城司 推薦

あて先： 匠探訪編集部  
〒289-2198  
匠探訪編集部  
八日市場ハ793番地2  
☎ 73・0080 FAX 72・1114